

高来図書室だより

2019年令和元年12月号 NO.160

諫早市立高来図書室

〒859-0117
諫早市高来町峰19-1
(高来西ゆめ会館内)
☎0957-32-2395
開室時間午前10時～午後

早いもので、令和元年も残すところあと一か月となりました。
新しい年も、皆様にとって明るい一年となりますように・・・
高来図書室では、年末に向けて、大掃除や年賀状、お節料理の本を準備しております。是非みなさまご活用ください。



年末年始休館のお知らせ



12月28日～1月4日まで諫早市内の図書館・図書室は休館させていただきます。それに伴い、年末は貸出期間の延長をいたします。

★図書・雑誌★ 2週間⇒3週間に！

12月14日(土)～12月27日(金)貸出分
みなさまのたくさんのご利用をお待ちしております。

12月のカレンダー

日	月	火	水	木	金	土
1	×	3	4	5	6	7
8	×	10	11	12	13	14
15	×	17	18	×	20	21
22	×	24	24	26	27	×
×	×	×				

1月のカレンダー

日	月	火	水	木	金	土
			×	×	×	×
5	×	7	8	9	10	11

休館中の図書の返却は本の返却ポストへお願いします。

※視聴覚資料は返却できません。

☒ : 休館日 ■ : おはなし会

図書室からの クリスマスプレゼント



高来図書室で購入している雑誌の付録を、3冊以上本を借りた方に差し上げます。

期間: 2019年12月21日(土) 10時～

- ☆無くなり次第終了します。
- ☆1人ひとつまでです。
- ☆利用者カードをお忘れなく！



おはなし会 のはなし

11月の《おはなし会》は

- ①『おもちのきもち』
- ②『なぞなぞの店』
- ③『ふゆですよ』
- ④『てぶくろ』

をよみました。

今月のおはなし会は
12月21日(土)午後2時～です♪



年明け5日からは、『本の福袋』をご用意してお待ちしております。
(なくなり次第終了)

新年も高来図書室をどうぞよろしくお願いたします。

新着案内



【一般書】



『十三の海鳴り-蝦夷太平記-』 安部 龍太郎／著 (集英社)

幕府に従うか、朝廷につくか。鎌倉末期の奥州、蝦夷。身の丈六尺三寸の青年・安藤新九郎がアイヌと力を合わせ切り拓く、真に進むべき道とは…。『小説すばる』掲載を加筆・修正し単行本化。安部版「太平記」シリーズ。

『星と龍』 葉室 麟／著 (朝日新聞出版)

悪党と呼ばれる一族に生まれた楠木正成の信条は正義。近隣の諸将を討伐した正成は醍醐天皇の信頼を得ていくが、自ら理想とする世の中と現実との隔たりに困惑し…。未完の長編小説。『週刊朝日』連載を単行本化。

『夜はおしまい』 島本 理生／著 (講談社)

ミスコンで無遠慮に価値をつけられる私。お金のために愛人業をする私。夫とはセックスしたくない私…。秘密を抱える神父・金井のもとを訪れる4人の女性。逃げ道のない女という性を抉るように描く。『群像』掲載を単行本化。

『目を見て話せない』 似鳥 鶏／著 (KADOKAWA)

大学入学早々、友達作りに出遅れ、落ち込んでいるコミュ障の藤村京は、教室で高級な傘の忘れ物を発見する。人に話しかけられない藤村は推理だけで傘の持ち主捜しをするが…。『文芸カドカワ』ほか掲載に加筆し書籍化。



その他の新着本

- ❖ 『大人のための道徳教科書』
- ❖ 『「賛否両論」おせちの本完全版』
- ❖ 『ツナグ-想い人の心得-』
- ❖ 『巡礼の家』
- ❖ 『今ある服でおしゃれに見せる「軸色」の法則』
- ❖ 『0歳からの体幹遊び』
- ❖ 『煮込みの本』
- ❖ 『ピースアクセサリー教本』
- ❖ 『おうちで作れる野菜の和菓子』
- ❖ 『彼女たちの犯罪』

【こどものほん】



えほん

『おうさまのこどもたち』

みうら たろう 三浦 太郎／さく

かいせいしゃ (偕成社)

はなや かしゆ せんしゆ じぶん す しごと ひとひと
花屋、アイドル歌手、サッカー選手など、自分の好きな仕事で人々を
しあわ かんが おうさま にん おうさま
幸せにしたいと考えた、王様の10人のこどもたち。王様のあとを継
いだのは…? さまざまな職場のようすがこまかく描かれた楽しい絵
ほん
本。

よみもの

『百桃太郎』

ももも た っ っ
原 京子／作・原 ゆたか／絵 (ポプラ社)

さんぞく つか た つづ
山賊ウルウルに捕まったイシシとノシシは、食べられないよう、続き
き おもしろ はなし い のび きょう
が聞きたくなる面白い話をして生き延びていました。今日も、100
びき けらい もももたろう はなし
匹も家来をつれた百桃太郎のお話をはじめ…。パノラマページあり。

ティーンズ

『この海をこえれば、わたしは』

ローレン・ウォーク／作・中井 はるの／訳 (さ・え・ら書房)

う うみ なが なが こしま そだ しょうじょ
生まれてすぐ海へ流され、流れついた小島で育てられた少女クローウ。
とうみん びょう りょうようじょ とう き
島民はクローウがハンセン病の療養所があったペニキース島から来たの
うたが さい じぶん なにもの し
ではと疑っていた。12歳になったクローウは自分が何者かを知るため
うみ こ けっしん
海を越える決心をする。

その他の あたらしい本



- * 『クイズでわかる! 全国47都道府県 (小学生のミカタ)』
- * 『ながーい5ふん みじかい5ふん』
- * 『なんでもモッテルさん』
- * 『はたらくくるまたちのクリスマス』
- * 『ふしぎ駄菓子屋銭天堂 12』
- * 『やすみのひ』
- * 『しあわせなハリネズミ』
- * 『かべのすきま』
- * 『きみひろくん』
- * 『ないしょのオリンピック』